

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人 あづみの森 尾道発達相談・療育支援センターあづみ園			
○保護者評価実施期間	令和6年12月19日 ～ 令和6年12月26日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37名	(回答者数)	35名
○従業者評価実施期間	令和7年1月6日 ～ 令和7年1月10日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数)	14名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月14日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育士・公認心理師・言語聴覚士など様々な専門職員が多角的にアセスメントを行い、子ども一人ひとりの発達に応じた療育提供をしている。	療育の質を高められるよう各職種で研修に参加している。	個々の発達に応じた遊びを充実させていきます。
2	個別指導後のフィードバック、クラス懇談、個人懇談など保護者との面談を定期的に行い、家庭での子どもの様子や子育てに関する悩みを共有し、必要となる対処法を園と保護者が一緒に考えている。	個別指導は保護者の希望する曜日や時間のアンケートを実施し、なるべく同席していただけるように計画している。もし、都合が合わず同席が難しい際は、後日対面にて個別指導のフィードバックを行うなどしている。クラス懇談では、保護者同士のつながりの場として子育ての悩みなどを情報交換できるようテーマを設けている。	就労をしておられる方や兄弟関係で参加が難しいご家庭もあり、実施曜日や時間などアンケート結果などを踏まえ検討していきます。
3	保護者だけでなく、地域に開かれたかたちで講演会を開催している。	市の広報への掲載や未就学施設や学校、福祉施設、行政へ周知している。 定期的に実施し、新しい情報を早く正確に学習できる場を設け、子どもたちの療育へ反映できるようにしている。	著名な先生方を招聘し、必要とされている情報を提供できるように努めています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	環境や体制の整備について	法定基準のスペースや職員配置は出来ているが、より丁寧な療育提供をするには、余裕を持った職員配置が必要である。	構造化とともに整理整頓を怠らず、安心して生活ができる環境を提供していきます。 子の看護休暇や時短勤務の延長、週休2日制など、働きやすい職場作りに取り組んでいます。
2	支援開始、終了時の打ち合わせや振り返りをするための時間を確保することが難しい。	バス送迎や延長保育等の業務で、サービス提供時間外で担当者がそろうことが難しい。	送迎や延長保育の当番等、配置に考慮し、担当者が揃う時間を確保していく。
3	地域の就学前施設との交流や他の子どもと活動する機会がない。	地域の行事に作品を展示する機会はあるものの、人員や移動手段等に課題があり交流までできていない。	全園児ではなく、就学児が地域の就学前施設へ出向き交流できる場を立案していく。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和7年2月14日

事業所名 社会福祉法人あづみの森
尾道発達相談・療育支援センターあづみ園

保護者等数（児童数） 36家庭 に配布 回収率：97%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	①	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	97%	3%			教室も園庭も広くてよく活動ができます 子供の気が逸れないようにパーティションを作ってプレイルームへ出入りできていたため。 片付けをもう少し頑張って欲しい	衛生面も含め、子ども達が安心安全に過ごせるよう整理整頓を徹底します
	②	職員の配置数は適切であると思いますか	86%	11%		3%	人数は他の園と比べると多いのかもしれませんが、先生たちが休み時間とれるのかな？と考えると必要なのかもしれないと感じました。子供のことは、よくみていただいていると思っています。 ひとりひとりをよく見てと思います 職員が足りていないように思うが仕方ないと思う	設置基準を満たす配置をしています
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	89%	8%		3%	子供に人気のキャラクターがついていてわかりやすいです。 バリアフリーで安全だと思います こどもにもわかりやすい構造化になっていると思います	今後もより丁寧な構造化、視覚的に分かる工夫を行っています
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	94%	6%			いつもきれいになっていて気持ちよく利用できます	引き続き子ども達の過ごしやすい空間を提供します
適切な 支援の 提供	⑤	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか	97%	3%			子どものことをよく理解してくれて適切な支援をいただいています	
	⑥	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	97%	3%				
	⑦	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%				よく話を聞いて頂き、それに基づいて内容が作成されています	
	⑧	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	97%			3%	しっかりと話を聞いて作成されているので必要な支援が明記されています 移行支援は、よくわからない	より具体的な支援内容を設定していきます
	⑨	児童発達支援計画に沿った支援が行われると思いますか。	97%	3%			計画に沿って適切な支援をして頂いています	

保護者への説明等	⑩	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	91%	6%		3%	いつも工夫された活動になっていてことも楽しく過ごせています 色々と活動があると思う いろいろと工夫してくれていると思う	
	⑪	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	51%	28%	3%	18%	他の施設のこどもと交流があると聞いたことはありません あまり必要ないと思います	子どもや保護者のニーズに合わせて検討をしていきます
	⑫	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	91%	9%			わかりやすく丁寧な説明がありました	契約時、丁寧な説明を行います
	⑬	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%				見ながら丁寧に説明がありました	
	⑭	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	97%	3%			親子活動の日にクラス懇談や勉強会もあり、いろいろな話が聞けて勉強になります その都度あると思います	個別指導後のフィードバックの際やクラス懇談にて実施しています
	⑮	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	94%	6%			送迎の際に先生とよく話が出来ると、共通理解ができています 子どもの対応の仕方など、先生からの返事をもらっている。	日頃の活動の様子やできたこと、苦手ことへの支援方法など、連絡帳でのやりとりや送迎時に保護者と共有しています
	⑯	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%				個別指導や親子活動、個別懇談などが定期的にあるので、アドバイスをいただく機会が多くて助かります 個別指導で聞いてもらっています 連絡ノートにもアドバイスを頂いています	
	⑰	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか	91%	9%			どんなことでも否定されることなく寄り添った支援をして頂いています	
	⑱	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	62%	20%		18%	クラス懇談や勉強会で保護者同士の交流が出来るので、良いと思います きょうだい支援はよくわからない	交流できる場を検討していきます
	⑲	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか	91%	6%		3%	いつでも相談ができると思いますし、何かあれば迅速に対応して下さるので助かります	
非常時等の対応	⑳	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか	94%	3%		3%	送迎の際ゆっくり話をする時間があって、毎日の連絡帳も丁寧に返答があるのでよくできていると思います	対面に限らず、電話や連絡帳、コドモン（アプリ）などを利用しています
	㉑	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	85%	6%	3%	6%	コドモンでよく届きます わかりやすくて良いです	行事等は毎月のクラス便りや園便り等をお渡ししています。自己評価はHPIにて発信しています
	㉒	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	91%	6%		3%	とても留意されています	個人情報の取扱いについては、留意して管理していきます
	㉓	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	97%	3%			親子活動で避難訓練もあり消防の方も来られている色々な体験ができました	どのような周知・説明が適切か検討していきます

	②4	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	97%			3%	定期的に避難訓練もあり、安心して預けられます	毎月計画的に訓練を実施しています
	②5	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	91%			9%	コドモンやおたよりでお知らせがあり、計画的にされていてしっかりと支援が行われていると思います	安全計画の策定は行っていますが、不十分な点を検討していきます
満足度	②6	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際状況等について説明がされていると思いますか。	80%	9%		11%	小さな怪我でも教えて下さり、状況もわかりやすく説明があり、安心です	より迅速かつ丁寧な連絡や説明を行っています
	②7	こどもは安心感をもって通所していますか。	100%				先生たちが優しく支援してくださるので、こどもも安心して通園しています	
	②8	こどもは通所を楽しみにしていますか	94%	6%			毎日とても楽しそうに通えています	c
	②9	事業所の支援に満足していますか。	100%				いつも丁寧な指導をしていただき、ありがとうございます 子どもがよりよい生活ができるように支援して下さるおかげでできることや話せる言葉も増えとても嬉しく思います	こどもや保護者の方に安心して利用して頂けるサービス提供を行っています

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果（公表）

社会福祉法人あづみの森
尾道発達相談
・療育支援センターあづみ園

公表：令和7年2月14日
職員16名に配布

事業所名

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	79%	21%	こどもの実態に合わせている	
	②	職員の配置数は適切である	15%	85%	休みの職員等朝礼で把握し考慮した配置をする	設置基準を満たす人数は配置しています 保育士、児童指導員のほか、言語聴覚士、公認心理師を配置しています
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	72%	28%	適宜、パテーションなどを使用し空間を分けている。 絵カードや写真などわかりやすい空間づくりをしている	片付けを行い、より丁寧な構造化や視覚的にわかる工夫に留意していきます
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	86%	14%	活動ごとにあった空間づくりをしている 日々清掃、消毒等を実施	活動や療育内容に応じて、机の配置を変えるなど工夫しています
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画している	86%	14%		日々の始業、終業時に目標設定、振り返り、改善等行っています
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	92%	8%	毎年実施し意見を取り入れ支援につなげている	評価表のほか、各行事ごとにアンケートを実施し、保護者の意見や要望の把握をし、業務改善に努めています
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	85%	15%	毎年実施し、意見を取り入れ支援につなげている。 連絡用アプリ活用し実施	自己評価を行い、自己評価結果及び保護者からの評価結果は、ホームページに公開しています
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	64%	36%		今年度より外部評価を受け改善に努めます
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	92%	8%	フォーラム等、専門的な知識に触れられる研修の機会が多い	毎月の職場研修や不定期ではあるものの年間5、6回著名な先生方を招聘し講演会を開催し、職員は資質向上のため参加しています
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	決められた期間内に保護者にニーズを聞いたり職員間で会議をしている モニタリング、家庭訪問等、ニーズを聞き取り反映している	こども、保護者のニーズを生かした支援計画を作成しています
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために標準化されたアセスメントツールを使用している	92%	8%		定期的に発達検査（心理・言語）で評価しています
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%		ガイドラインに沿った具体的で丁寧な支援内容を設定しています
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	計画を職員間で共有し取り組んでいる	支援計画会議を行い、モニタリングにより支援計画に沿った支援を行っています
	⑭	活動ア ームの立案をチームで行っている	78%	22%	季節の行事等は行われている 実態に合わせて行っている	年間計画、月案、活動内容等チームで策定しています
	⑮	活動ア ームが固定化しないよう工夫している	100%	0%	子どもの課題や興味関心に合わせ、変化を大切にしている	季節の行事は前年度分を参考にしながら、子どもの実態に応じたプログラムを立案しています
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	100%	0%	チームで定期的に集団と個別で話し合い作成している	モニタリングや支援計画会議に基づいて計画を作成しています
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	50%	50%	送迎等、日によって出来ない事もある。場合によっては、活動中に確認する事もある	前日終礼にて活動内容やねらいを共通認識しています
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	57%	43%	子ども達が楽しく取り組めるタイミングや超えかけ環境の整理など職員同士で共有できる機会が多い 出来ているクラスもあるがクラスによる時間を見つけて極力行っている	行事等の振り返りや改善点などは意見を出し合っているが日常の活動内容では不十分なところがあるため充実させていきます
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	支援記録や個別指導記録など	毎日個別の記録は作成し、子どもの様子や気づきなど検証、改善を図っています
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	92%	8%	半年に1度は実施	定期的にモニタリングを行い、支援内容の継続や変更を行っています
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	管理者が参加	サービス担当者会議には、児童発達支援管理責任者が参画しています

関係機関や保護者との連携	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	85%	15%	気になる家庭については実施している必要に応じて関係機関と会議を実施	保健師、医療機関、行政等との連携を図っています
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	86%	14%		今年度は該当児はいません
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	92%	8%	子どもの医療的ケアが必要なものを保護者に確認している 今年度医療的ケアの必要な子どもはいませんが、必要な場合は職員間へ周知共有は行っている	今年度は該当児はいません
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚園）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	92%	8%	併行先との連携	必要に応じて、情報提供を行い、支援内容など共通理解を図っています
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	カンファレンスにて共有	必要に応じて、情報提供を行い、支援内容など共通理解を図っています
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	71%	29%		公開療育やお互いの研修会などへ参加を検討していきます
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	8%	92%		利用者のニーズを把握し、交流の場を検討していきます
保護者への説明責任等	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	75%	25%		児童部会へ担当者、管理者が参加しています
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	92%	8%		日頃の活動の様子やできたこと、苦手なことへの支援方法など、連絡帳でのやりとりや送迎時に保護者と共有しています
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援「おうち（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	86%	14%	個別時、クラス懇談などで実施	個別指導後のフィードバックの際やクラス懇談にて実施しています
	㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	86%	14%	契約時、入園時に実施	契約時には、重要事項説明書により、サービス利用全般にわたる説明を行い文書をお渡ししています。運営規程については、自由の閲覧できるように事業所内へ備え付けています。
	㉝	児童発達支援「おうち」の「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%	保護者のニーズも踏まえ職員で話し合い作成し同意をえている	会える保護者が少なくなっており、連絡帳でのやりとりも難しい為モニタリング等の場面で子どもの状況を話しています
	㉞	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	94%	6%	個別時、クラス懇談などで実施	家庭訪問や親子活動、クラス懇談会への参加や学習会などを実施しています
	㉟	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	86%	14%	保護者会・クラス懇談などで機会を作っている	就労している方も多く参加人数も少ないことがあり参加できる場を多くせ設定できるよう努めていきます
非常時の対応	㊱	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	相談があった場合は、早急に対応するように設備している	
	㊲	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	定期的に園だより、クラスだより、法人機関誌の発行、また連絡用アプリにてを発信	
	㊳	個人情報の取扱いに十分注意している	86%	14%	個人情報については、VPN（共有フォルダ）にて管理	
	㊴	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	必要に応じて絵カードを作成したりアプリの紹介や使い方の練習をしている	
	㊵	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	50%	50%		運動会卒園式などの来賓としての御出席に限らず、参加して頂ける行事を検討していきます
	㊶	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに発生を想定した訓練を実施している	100%	0%	月1回の実施 園外の避難先への避難経路の確認を行った	
	㊷	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	今年度、防災頭巾の補充もあり、実践的に訓練ができています	安全計画に基づき原則毎月避難訓練を実施しています（火災・自然災害・不審者）
非常時の対応	㊸	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%	入園児面接で把握し、職員間で共有	既往歴やアレルギーの有無について、文書にて把握しています

④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	食事提供委託先とも連携	必要に応じ医師の指示書の提出をお願いしています
④⑤	ヒヤハット事例集を作成して事業所内で共有している	92%	8%	事例集はないが、ファイリングしている。口頭での伝達、共有はしている	発生後直ちに上司に報告 報告書を作成し全職員で共有しています
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	92%	8%		職員研修を実施しています
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	86%	14%	個別支援計画に記載している	法人内にて委員会や研修の実施をしています

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。